

住宅地の河川は住民の憩いや散策空間、生物の生息・移動空間として、市民、活動団体、行政の協働により、河畔林の保全・育成・活用・維持管理を進めましょう。また、川沿いでの散策路の整備や公園緑地との一体的な整備を行うことで、うるおいのある住環境の形成を進めます。

各担い手の役割

- 市民
- 活動団体
- 企業
- 大学・専門
- 行政

市民、活動団体、企業は、企業との連携を図り、河川のみどりづくり、清掃作業に参加・協力するほか、河川の持つ役割、機能に対する理解を深めましょう。

地域の小学校などでは、身近な河川を教材として活用していきましょう。

行政は、河岸の樹木の適正な管理・保全や、散策路の整備、隣接する公園と一体的な整備を行うなど、河川を活かしたうるおいある都市環境づくりを行っていきます。

⑩ 身近な河川の活用

- 住宅地を流れる河川を活かした都市環境づくりの例  
散策路の整備や、公園との一体的な整備により、河川を活かしたうるおいある都市環境づくりを進めています。

<安春川：散策路の整備>



<吉田川：隣接公園と一体的に整備>



- 市民とともに整備計画・維持指針を作成した西野川の例  
市民とともに河川の整備計画、維持指針を検討、作成しています。

<整備計画、維持指針を検討の様子>



<保全された草地>



- 河川沿いの河畔林の保全や花壇づくりの例  
河畔林の樹林を残して整備しています。花壇を整備し、地域住民が利用しています。

<真駒内用水>



<追分川>



## D 商業・業務地の活動

### < 商業・業務地のみどりづくりのあり方 >

商業地のみどりづくりは、拠点となる主な公共・公益施設のほか、民有地での建築物やオープンスペースの緑化、コンテナガーデンによる緑化を積極的に進めながら、多くの人を迎え入れる、質の高いみどりに彩られた商業・業務地の環境づくりを目指しましょう。

○ 商業・業務地の顔となるみどりの軸の形成 **P.075**

関連する主なプログラム

① 街路樹の育成・管理

② 民有地のみどりづくり

④⑤⑥⑩⑪

○ 歩いて楽しい花による街並みづくり **P.077**

関連する主なプログラム

③ 街路空間を活かした花づくり

④⑤⑥

○ 公共施設・公園緑地などの質の高いみどりの憩い空間づくり **P.078**

関連する主なプログラム

④ 公共・公益施設などのみどりづくり

⑤ 公園緑地のみどりづくり

⑤⑥⑪⑫

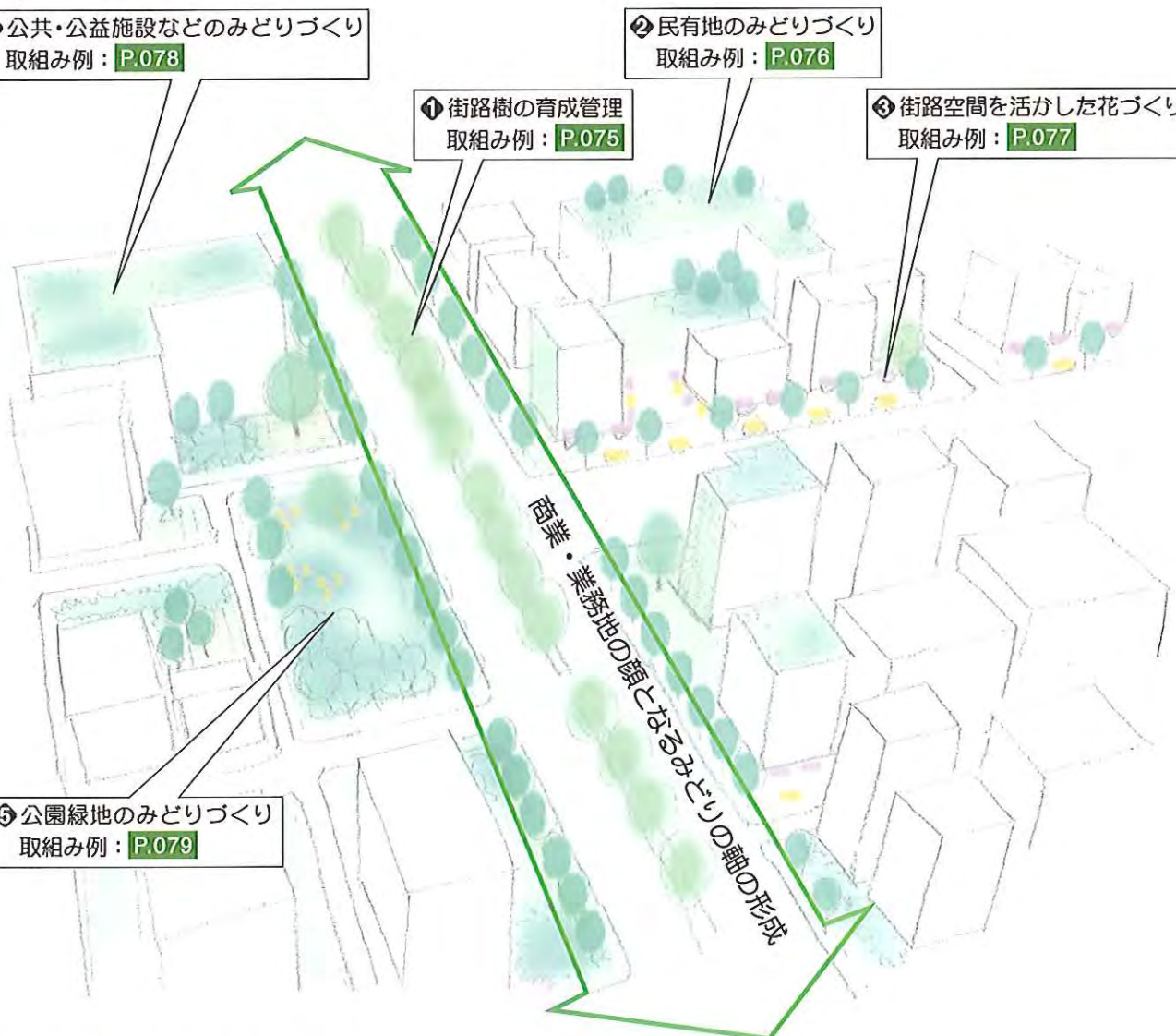
④ 公共・公益施設などのみどりづくり  
取組み例： **P.078**

② 民有地のみどりづくり  
取組み例： **P.076**

① 街路樹の育成管理  
取組み例： **P.075**

③ 街路空間を活かした花づくり  
取組み例： **P.077**

⑤ 公園緑地のみどりづくり  
取組み例： **P.079**



商業・業務地のメインストリートとなる通りでは、行政による街路樹の適正な育成・管理を推進するほか、行政と沿道関係者が協働して、既存のみどり（街路樹、公園内樹木、公共・民有地内樹木など）をはぐくむことで連続した豊かなみどりの軸を形成し、風格ある商業・業務地の顔づくりを進めましょう。

各担い手の役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 市民</li> <li>● 活動団体</li> </ul>	市民、活動団体は、企業との連携を図り、民有地のみどりづくり、維持管理作業などに参画しましょう。
	● 企業	企業は所有する建築物緑化（屋上緑化、壁面緑化）、外構の緑化によるみどり豊かな街並みづくりを行いましょ。民有地で開発を行う際は、緑保全創出地域制度に基づく緑化を行うほか、総合設計制度を活用するなど、積極的にオープンスペースを確保し、うるおいある都市環境の形成に努めましょ。また、隣接する地権者との連携による連続的な緑化に取り組むなど、うるおいのある環境づくりを行いましょ。
	● 大学・専門	大学など専門機関は、屋上緑化、壁面緑化をはじめ、都市空間における緑化技術や緑化の効果について研究、開発、普及に努めましょ。
	● 行政	行政は、街路樹や公園樹木の適正な育成・管理を行うほか、民有地の緑化促進のため、資材提供、技術的・制度的支援、効果的なオープンスペース創出や連続的な緑化、維持管理に向けた関係者のコーディネートや関係機関の調整を行います。

## ① 街路樹の育成・管理

### ● 札幌都心部の特に重要なみどりの軸

大通公園、創成川公園、駅前通、北3条、といった都心のみどりの適正な育成管理により、都心部におけるみどりを主体とした都市景観をつくりだしています。

<北3条通>



<大通>

